

アート・リサーチセンター

Art Research Center



有形・無形の文化芸術資源を研究・記録・保存し デジタル・ヒューマニティーズ型世界的研究拠点を形成する

1998年に設立したアート・リサーチセンター（ARC）は、私たち人類が持つ文化を後世に伝達するために、芸術、芸能、技術、技能を中心とした有形・無形の文化芸術資源を、歴史的、社会的観点から研究・分析し、記録・整理・保存・発信することを目的としています。京都にある総合大学の研究所として、当初から文理融合を前提とし、異分野の研究者の英知を集結させて、国内外の研究機関とともに、共同研究あるいはプロジェクト型研究を開拓してきました。

特に、文部科学省21世紀COEプログラム「京都アート・エンタテインメント創成研究」に採択された2000年代以後、伝統的な人文学と情報科学を連携させた日本文化研究を推進させ、日本

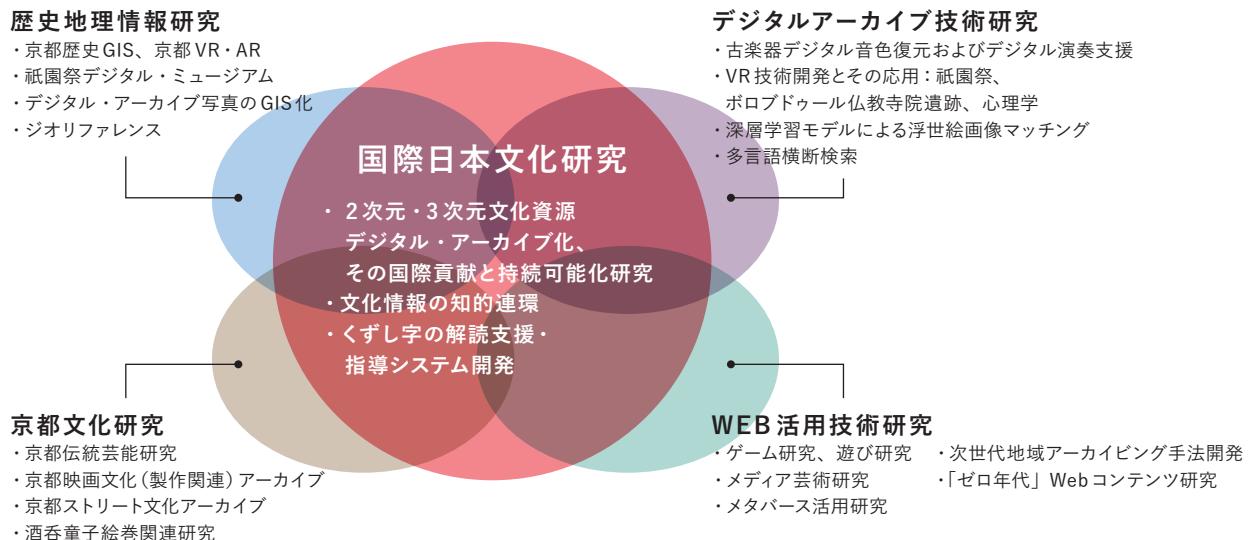
のデジタル・ヒューマニティーズの代表的な拠点として国際連携を推進するとともに、若手研究者の育成に力を注いできました。

また、これまで研究・教育活動を通して蓄積してきた、有形・無形の日本文化資源に関する膨大なデジタル資料や、その作成技術、国内外の関連機関・組織との人的ネットワークをさらに高度化させ、有効に利活用するための取り組みを行ってきました。2019年度に文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」(ARC-iJAC)に採択され、デジタル・ヒューマニティーズ型研究の“世界水準の研究拠点形成”を目指しています。

【主な学術交流・研究協力機関】

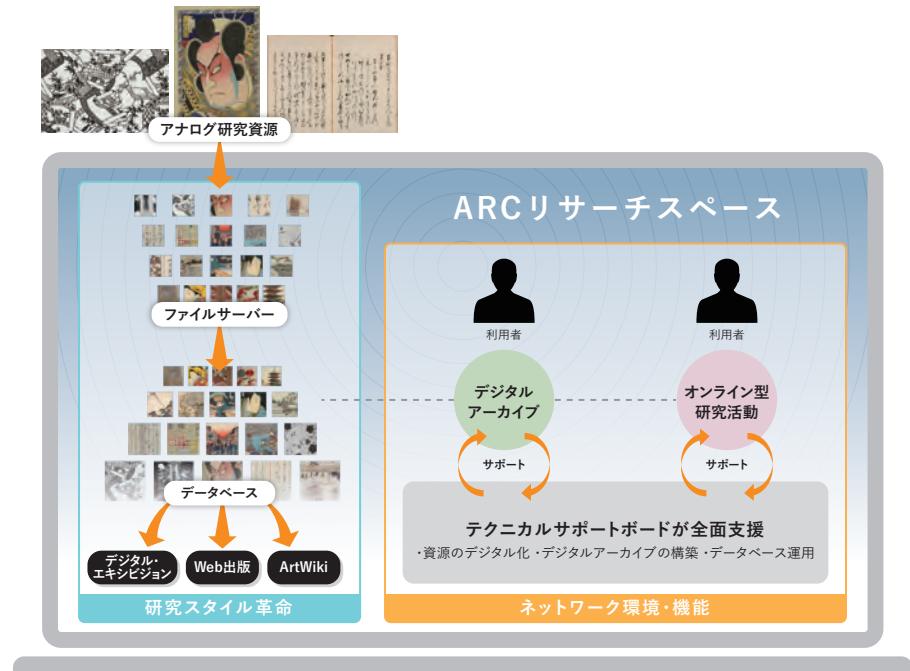
国内 片山家能楽・京舞保存財団、早稲田大学演劇博物館、国立音楽大学図書館、国際日本文化研究センター、国文学研究資料館
国外 メトロポリタン美術館、ボストン美術館、シカゴ美術館、コロンビア大学、ロンドン大学SOAS(東洋アフリカ学院)、ヴィクトリア&アルバート博物館、大英博物館、セインズベリー日本藝術研究所、カリフォルニア大学バークレー校、インドネシア国立研究革新庁(BRIN)

■ 文理融合の研究構造



・アート・リサーチセンター（ARC）は、全国に7拠点ある国際共同利用・共同研究拠点の一つで、私立大学では唯一の認定を受けています。
・デジタル・アーカイブを基盤にオンライン上で研究活動が完結する研究環境「ARCリサーチスペース」を提供し、効率のよい研究活動を支援します。
・施設・機器等の貸与だけでなく、これからデジタル型研究に取り組もうという方でも、テクニカルサポートを受けながら、新しい研究手法に挑戦できます。

- 1) 高度な専門性に対応する「文化資源型データベース」群
- 2) プロジェクト単位で構築できる「レファレンス型データベース」群
- 3) 研究グループの活動や成果を簡単に表現できる「ヴァーチャル・インスティテュート」／「デジタル・ミュージアム」システム
- 4) 研究グループ単位で構築する「ArtWiki」システム
- 5) 商用クラウドに匹敵する機能を持つ「ARC Cloud」システム



センター長：赤間 亮（文学部 教授）

主な研究拠点：衣笠キャンパス

お問い合わせ：立命館大学 研究部 衣笠リサーチオフィス内 アート・リサーチセンター事務局

TEL:075-466-3411 FAX:075-466-3415 E-mail:arc-jimu@arc.ritsumei.ac.jp http://www.arc.ritsumei.ac.jp/